

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒 063-8612 西区琴似2条7丁目1-1
TEL 641-2400 内線224~227 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時～

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

◎区民のページ 2006・6



まちの人



造形作家

おがさわら ^{くら} 小笠原 ^{み蔵} さん(66)

クラフトグレイン スタジオみくら

西区平和2条11丁目

TEL662-4331、FAX665-6003

ホームページ<http://www8.plala.or.jp/grain/>



■「乾物」シリーズの作品

「私は芸術家ではない。単なる飲んべえが自由に好きなものを作っている」と笑顔で話す平和在住の小笠原さんは、動物などの彫刻を作る造形作家です。作業場には表情豊かなブタやゴリラなどの彫刻が所狭しと並んでいます。その中に魚の干物や野菜の作品も置いてあります。それらは昨年発表した「乾物」シリーズの作品。自分で一週間ほど干した魚をモデルに、おいしそうな瞬間をとらえて制作します。仕上げた後でモデルだった魚を焼いて「一杯飲むことが楽しみだ」といたずらっぽく話します。

感動を忘れずに作品を作り続けたい

小笠原さんの手掛けるブタやゴリラなどの作品は、おどけた表情やしぐさがユーモアたっぷりに表現されています。「動物を彫っているけど中身は人間」。特にゴリラは人間に似ているといえます。「ゴリラの生息数が減っているのは、酸性雨などで環境破壊が進んでいるから。ゴリラのすみ山や野原が減っているのです。人間もいざれゴリラと同じ道をたどるのでは。ゴリラの彫刻を見た人が、地球の環境を守ることの大切さを考えてくれれば」と話します。

ゴリラの木彫りは、現在五百体ほど作りましたが、いずれ千体まで作りたいと意欲を燃やしています。そんな小笠原さんの創作意欲の源は「五感を目いっぱい働かせて感動すること」。最近では、感動したことを態度で表す人が少ないと感じているそうです。「おいしいものを食べたり、きれいなものを見たりしたら、思わず叫んでしまうくらい全身を使って感動してほしい」。

今年も、各地で開かれる展示会に向けて制作に励んでいる小笠原さん。これからも自分が感動したものを作り続けたいと熱く語ります。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんのご希望やご意見をお寄せください。はがき、ファクス、Eメール nishi@city.sapporo.jp、西区総務企画課広聴係(上欄)へ。